

会 議 報 告 書 (要旨)

- 会 議 名 日向市総合体育館整備市民検討委員会 第1回会議
- 日 時 令和元年7月23日(火) 15:00~16:30
- 場 所 第1~第3委員会室
- 主 催 資産経営課
- 出 席 者 市民検討委員会委員(18名、欠席1名)、事務局(6名)
- 協議内容 委嘱状交付等を行った後、市の考え方の説明やコンセプト等についての意見交換を行った。

【会次第】

1 開 会

2 委嘱状交付 ⇒副市長より、代表して市民公募委員の河野幸男様に交付。

3 副市長あいさつ

4 委員及び事務局紹介

5 委員長、副委員長の選任

⇒事務局より、委員長に桑野委員、副委員長に佐多委員を提案し、異議なし。
委員長に桑野委員、副委員長に佐多委員を選任

6 事務局説明

- (1)「日向市スポーツ施設整備基本構想」について
- (2)市民のスポーツ施設に対するニーズについて

【主な意見(要旨)】

- (委員長) 今回、スポーツ施設整備基本構想時に委員として参画されていた方もおられるが、補足があればお願いしたい。
- (委 員) 構想策定の際も話したが、アンケートについて、回収率32%では、普段スポーツをしていない人も含まれていると思うが、市民の意見を反映しているとは言えないのではないか。
- (委 員) 市民が体育館を整備してほしいという意見は浸透していないと思う。整備場所等、いろいろな問題があると思うが、最初のスタートで理解が難しい。
- (委員長) 事務局の方で整備場所等は説明してもらい整理していきたい。
- (事務局) 回収率は低かったが、統計学的には、信頼度は高いということで考えている。

(3) 「日向市総合体育館整備基本構想」全体構成について

【主な意見（要旨）】

- (委員) 防災面についての検討はどうなっているのか。
- (委員長) スポーツ施設整備基本構想の中で、22 ページに施設の位置づけが示されており、災害時の防災拠点も示されているので、大きな役割のひとつと考えられる。
- (事務局) スポーツ施設整備基本構想の総合体育館整備場所の検討の視点として、防災性も示されており、重要な機能のひとつである。しかし、どのような機能をどのくらい持たせるかで、規模が変わってくるので、今後、慎重に検討していきたい。

(4) 市の考え方（基本方針）について

総合体育館の必要性について、現在の体育センター及び本市の現況や市民のニーズを踏まえ、主な課題を整理した。また、建設場所の候補地として、昨年度策定した「日向市スポーツ施設整備基本構想」での“スポーツ力向上を牽引する市民スポーツの拠点”としての市スポーツ施設の位置づけに合致し、また、津波浸水想定区域外に位置し、防災拠点施設としての役割も確実に担えることはもとより、建設に係る市の実質負担額が最も少なく、経済性に優れ、総合的に優位性の高い、大王谷運動公園内に総合体育館を整備することを基本に、今後、具体的な施設レイアウトの検討を進めることとしたい。

【主な意見（要旨）】

- (委員長) 整備場所は今後の検討を進めていくなかで大変重要な項目になる。
- (委員) 大王谷運動公園のどこに整備するのか。
- (事務局) 公園内にも様々な施設があるが、具体的な場所については回答は本日は控えたい。将来的な人口減少の中で、公共施設マネジメントの視点や市民のニーズも的確にとらえながら進めていく。
- (委員長) 大王谷エリア内のどこに整備するのかは、今後、庁内の検討委員会も含めて、市民検討委員会の中でも協議していくとのことである。
- (委員) 避難場所の観点から、避難地区の人口はどのくらいか。
- (事務局) 総合体育館は長期的な避難所としての機能を考えているが、対象地区の人口は、今は持ち合わせていないので、後日、説明させていただく。
- (委員) 総合体育館とされているが、武道館も検討の対象になっているのか。
- (事務局) 武道館についても老朽化しており、別々に整備するより総合体育館内に武道場を設置する方が経済的にもベストではないかと考えているが、規模等を含め、今後、検討していきたい。

7 意見交換

○テーマ 「わたしのまちの体育館」

(1) 基本コンセプト (2) 体育館に備える基本的な機能

大王谷運動公園での整備を前提に、上記のテーマをもとに、付箋紙へ自由に意見を書いていただき、事務局で分類分けを行い、委員長に意見をまとめていただいた。

【主な意見（要旨）】

（委員長）出された意見について、ご意見を伺いたい。

（副委員長）機能については、設計の中で議論していくことになる。大事なのは防災の視点、市民がいかに使いやすい体育館にするか、その後、大会誘致。武道場も体育館に設置できるので、詳細は設計の中で検討してもらいたい。エレベーターやスロープ等のバリアフリーの視点も大変重要である。

（委員）バリアフリーや宿泊の観点から意見を書いた。被災地ではプライバシーが守れないので、災害時の拠点としては十分な議論を重ねていただきたい。大王谷は高台であるが、そこに行くまでの交通手段も重要なので、今後検討していただきたい。

（委員）健常者の方はいいが、障がい者や高齢者等はどういう交通手段で体育館に行くのか。交通手段の検討も必要である。

（委員）防災とバリアフリーについて意見を書いた。健康な方はいいが、在宅酸素が必要な方もいる中で、そういう施設は市内にはない。多目的ルームや盲導犬、人工肛門等の対処等、そういう点も踏まえた施設整備も必要と考えている。

（委員）体育館建設は50年前からの要望であり、ぜひとも建設していただきたい。

（副委員長）宮崎市のアリーナ構想は、民間の敷地を利用するというので、固定資産税や借地料等、経済的な負担が大きいということで議会でも、議論されている。日向市はコスト的にも様々な検討をしながら丁寧に進めており、感心している。宮崎市はにぎわい創出ということだが、日向市は市民がいかに使用してもらうかを一生懸命考えられており、今後も進めていただきたい。

（委員）今後も速やかに建設に進めるよう、検討していただきたい。

■次回開催予定 8月26日（月）8：30～

資料は、別添のとおり。